

一 一 一 變信 三 二 三 〇 〇 了 二 二 元 〇 電 〇 六 三 八 六 作 〇

十 戰 緊 急



● 天 一 隨 作 以 部 隊

● 沖 根 〓

機密第一 一一一九二〇 香電

一九〇〇 觀界内敵情嘉手納沖段艦三、重巡二、輕巡七、驅逐艦四、
送船七〇、小舟五〇、那覇沖段艦二、重巡二、輕巡一、驅逐艦四、
掃海艇五、直衝機ナシ、本日日没ニ至ルモ、艦隊遠ク遡進セザルハ、特異現象
ナリ。

通七二一〇、天口(三七三〇C)沖根、田中(兩谷)



振天球

通七二三八 呂一Bケ七 (B) OFP 品田 (矢野)

第五基地航空部隊電令第八四號
臺灣部隊指揮官ハ攻撃第二五三飛行隊九九式艦爆及九七式艦攻全機
ハ夜間行動可能ナルモノヲ除ク。ヲ以テ神風特別攻撃隊ヲ編成ス。ハ
シ本攻撃隊ヲ振除ト命名ス。

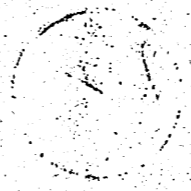


機密第一一二〇一〇番電

五基地航空部隊作戰命令着信艦所

緊急

四 一 一 受信二二四〇〇 譯了二三一五 電〇六三八一 統作本概〇



至急



● 天一號作戰部隊
● 大海參一部

● 六航軍派遣通信隊

機密第一一二二七番電 四分ノ一、二、三、四

球情報

二一日一〇〇迄ノ敵北飛行場使用狀況

○九四五小型機一二着陸一〇一〇双發中型一着陸ノ同飛行場制壓
本一五五七ノ豫定

尚精軍ハ陸正面ノ敵主力殲滅戰ニ呼應制壓射撃ヲ強化以テ充分使
用妨害ヲ企圖シテ

臺灣國神支隊戰況(十一月一二〇〇)

七日名護灣上陸セル敵歩兵約五〇〇〇戰車約一五〇砲六門ニシ

通 七七三九二〇七七四六二 呂一Bケ七(四九三〇Koko) 佐二放(小澤綾)
加藤・宮崎
吉川・中田

受信開始 〇〇九三〇七 開了 一〇五〇 電自 〇〇六六四三 作 概

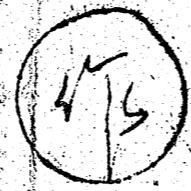
Vertical text on the right page, including a large circular stamp at the top and several lines of faint, mostly illegible text.

延遲多字誤本註

テB三〇三〇二ノ支援下ニ逐次本部半島ニ進入シ來九日二〇〇〇
 安和伊豆味乙羽與那國上江線ニ進出スルト共ニ一部ハ伊豆味渡久地
 ナ經テ二〇七高地ニ達シ支隊ハ引續果敢ナル邀撃戰ニヨリ敵ノ主陣
 地ヘノ近接ヲ妨害シ之ガ多大ナル出血ヲ供出セシメ我ガ方ノ損害ハ
 極メテ輕微ナリ伊江島ハ艦砲射撃ノアル他敵ノ上陸ヲ見メ現在迄ニ
 判明セル戰果 破壊炎上戰車三五裝甲車二トラツク一二五發電所一
 彈藥燃料糧秣集積所七箇所爆破人員射殺數十名
 四月十日ヨリ十一日〇九〇〇迄敵機來襲狀況
 (イ)十日〇六二〇ヨリ一三〇〇ノ間延九〇機ニシテ主トシテ首里絲滿
 南方銃爆撃スルト共ニ中城灣與那原ニ對シ哨戒偵察ヲ行ヒ從來ニ
 比シ來襲極メテ緩ナルハ雨天ノ關係ナリ一三〇〇以降天候不良ノ
 爲飛來機ナシ
 (ロ)十一日朝來依然トシテ今迄活潑ナラズ〇九〇〇約二〇機

無線電所用共通符號
 〇三〇三〇〇
 〇一〇一〇〇
 〇六〇一〇

作戰特別緊急



第一機動基地航空部隊天龍作戰部隊機動機報着信所

機密第一一二一三九番電

一五PGB天信司令作第一〇九號

一、明廿二日七二一部隊神書攻隊缺在國分全力(一〇A)除ク

〇六〇〇以後對機動部隊攻隊待機

二、一三一部隊一〇A特攻隊及神書攻隊ハ主トシテ沖繩周邊敵空母

戰艦ヲ六〇一部隊一〇A特攻隊ハ主トシテ沖繩周邊敵空母 巡洋

艦 驅逐艦 輸送船ヲ攻メハシ

通七二九〇 呂一Bケ七(七八七五K) 一五PGB放

藤野(小野田)

四 一二受信 〇〇四三五〇七 歸了〇八四〇 電〇七一四二

緊急

聯合艦隊口

天一號作戰部隊

機密第一一二一四三番電 二分ノ一

六航軍戰鬪概報(十一日)

一、天候回復ニ伴ヒ諸ハ勇躍明日ノ總攻準備ニ邁進遺憾ナキヲ期シ
ツツアリ

ニ知覽万世地誌ニ於テ準備ノ上特攻六五機菊地自達原地陽約三〇機
一部ハ十一日早知覽万世ニ邁進(第八飛行師團ヨリ九州地誌ニ於
テ。

電信課註、
(本電二分ノ二既配布)
(東通註、再送ニ付遅延)
通七四〇七 呂一日々七(四九一五) 佐二放 島田(飯田)

航本〇

四 一二 受信 〇〇五五〇七 譯了 〇七二五 電 〇六七六〇 航作 〇〇

緊急



聯合艦隊司令部
天一號作戰部隊

六航軍派遣通信隊

機密第一一二一四三番電 二分、二

轉屬ヲ受ケタル特別攻撃隊一二機(新田原)計約一〇〇機、案可能ト認

三重爆七ヲ以テ球砲隊ノ飛行場砲撃ニ先ダテ十二日〇四二〇〇四四〇

〇四五〇ノ三回北中飛行場ヲ攻撃之ヲ制壓

四十二日ノ作戰要領既報ノ通但制空戰鬪機數約二〇機。

電信課註 本電二分、一未着

通七四一八 呂一八七(四五七二、五三)高二放 長谷川(田中)

作戰要急

四
一
二
三
開始

● 鹿屋航空基地

● 機動基地航空部隊

機密第一一二一五八番電

發 機動基地航空部隊參謀

明十二日一一〇〇鹿屋發紫電改型約五〇機大島南方海面ヲ哨戒ス味
方體別ニ關シ注意セシメラレテ廣。

通七二九一 第一四七(七)八七五(六) 一五〇〇放 池原(梅) 水()

圖 一二 授 始 〇三三六 〇四二六 〇四四五 〇六四九五 航作 本〇

作戰緊急

○ 總無線艦所用共通符號



○ 第一機動基地航空部隊天號作戰部隊戰國機報着信艦所

發密第一一二二二七番電

發 一 K F G B 參謀

一 K F G B 發密第一一八二七番電中

「首里東方一軒」トアヲ「西方一軒」ニ訂正サレ度。

通七三九九 呂一Bケ七(七八七五K) 一 K F G B 放

末光(小野田)

四 一二 受信一五五八 譯了一七二七 電〇六八一三 作概

至 一機動基地航至部隊 專界航至基地

停

機平第一一二二五〇番電 二分ノ二

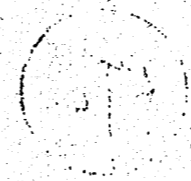
四日没ヨリ二〇三〇頃迄敵夜戦二機來襲九七艦攻着陸直後銃撃開始被

撃ナシ 五二〇〇頃味方機一機(天山ト懸ノラル)飛行場上空ニ於テ敵夜戦

ト空戦自爆

六二一三五夜戦一機兩飛行場投弾陸軍機一機炎上 一電信課註 本電二分ノ一未着

通七六八四 呂一〇七七七八七五KG) 一KFG放 望月(右峰)



Vertical text on the right page, possibly a date or location.

國 一二 授信 〇〇二〇二五 善了 〇二二〇 電 〇六四三一 航作 本 〇

緊急

● 新竹航空基地

● 小崗山司令部



機密第一一二三四〇番電

發 參謀長

左ノ件念ノ爲

一、今次特攻總攻襲ニハ九九式艦爆及九七式艦攻特別攻撃隊ハ參加セズ
ニ、零戦隊誘導ノ艦爆特別攻撃隊二機及天山隊搭乗員ハ伎倆優秀ナルモ
ノヲ充當ノコト又右艦爆ハ爆彈携行宜欄進出ノコト(宜欄ニハ五〇
番爆彈ナシ)

通七三三〇 呂一Bケ七一三七八三三三 KC (五) FCB 甲田 (福 田)

作戰緊急



四 一一

設信 〇〇二二四〇五

譯了 〇五二六

電 〇〇六四八八七

航作 本機 〇

第五基地航空部隊△

第五基地航空部隊戰備概報着信繼所

機密第一一二三四二番電

二分ノ一、二

第五基地航空部隊電令作第八五號同電令作第七八號
特別攻鑿隊總攻鑿要領ハ左ノ通ニ依ル攻鑿時刻

- (イ) 陸機機隊攻隊ハ零戰誘導機ヲ除クハ一二日夕刻
- (ロ) 零戰隊台中隊ノ突入時刻ヲ一三日〇九三〇トシ石垣隊ハ右ニ策應スル如ク發進攻撃ス

(イ) 臺中零戰隊半兵力及艦機攻隊中二機ハ零戰誘導他ニ兼テ宜蘭
台中零戰隊半兵力及誘導天山隊臺北トシ令ナクシテ十二日夕
刻迄ニ各基地ニ進出

通七三四一・七三四四 呂一五ヶ七・三七八二五 KC (五) 甲田 (五)

其戰果偵察十二日午後
一、陸上部隊ノ目視ニ依賴シ
十三日彩雲二機〇九〇〇迄ニ戰場ニ到達戰果偵察實施。

四 一二二 受信〇〇二五〇 終了〇三〇八 電〇六四五〇 航作 概〇
開始〇〇二二一

作戰緊急

小 崗 山 司 令 部



第五基地航空部隊台灣方面飛行機配備基地

機密第一一二三三五二番電

第五基地航空部隊電令第二一號

一二〇五空鈴木少佐ハ明十二日夕刻宜 爾ニ進出明後總攻撃終了

迄所在兵力ヲ指揮スベシ

ニ臺灣部隊指揮官ハ右ニ準シ臺北指揮官ヲ派出スベシ

通七三三九 呂一〇々七〇三七八二五K(五)B放 筒井中尉田

作戰緊急

四 一三 受信 〇〇二〇四七六

譯了 〇五二六 電 〇六四三二

航作 本機 〇

三二一 設警隊



佐鎮區敵情着信機所

機密第一二〇〇一五番電

電探ニ依ル敵艦艇位置方位八〇度三〇分五〇秒ニシテ約一〇機ノ上空直衛機ヲ配シアル模様ナリ本島ハ晝間來襲ニ引續キ執拗ナル艦上機(牽制砲臺)一機艦艇飛行場爆撃制壓中。

通七三四六

於一五(四九一五 KC) 佐土放

關根(福田)

